

創立50周年を迎えて

勝木グループ 代表 勝木保夫

昭和41年12月1日、大文字町に整形外科芦城病院の開院以来、50周年の節目を迎えました。この節目を迎えることができたのも、地域社会の皆様、行政の関係省庁、各専門職種の団体、大学医局はもちろんのこと、何より現場で奮闘していただいたOB・OGの方々、現在第一線で活躍中の職員の皆様、そのご家族、グループを支えてくださる協力企業各位の御尽力、御指導のおかげであります。本当に言葉では尽くせない感謝の気持ちで一杯です。

この50年を振り返ると、整形外科という診療科がまだ世間に認知されていない昭和40年代に整形外科の専門病院を開業、リハビリテーションとレクリエーションの区別がついていない時代にリハビリテーション専門病院を開業、生活習慣病や健康増進という言葉が普及していなかった時代に北陸体

力科学研究所を設立と地域においてそれまでになかった分野の先陣を切って歩んで参りました。

私たちは大勢の地域社会の方々に御支援御教授いただいたおかげであることを常に忘れず、深い感謝の気持ちをもってこれからの社会へ貢献することが使命と考えています。今後もさらに地域社会に頼っていただけるように、「あなたの健康がわたしたちの願いです」の理念を大切に、「予防する」「治療する」「地域を支える」、医療・介護・健康増進サービスの提供に邁進して参ります。



CONTENTS

- 創立50周年を迎えてのあいさつ
- 勝木グループ50年のあゆみ
- 医師紹介

勝木グループ50年のあゆみ

南加賀で最初の 整形外科専門病院

外傷や運動器疾患は、もともと一般外科が担当していました。北陸では昭和28年に金沢大学に整形外科科学講座が開設され、一般外科から整形外科が専門分野に分離独立しました。南加賀には整形外科専門診療の施設がありませんでしたが、昭和41年に病床数30床の整形外科芦城病院を開院し、外傷や骨折などの運動器疾患を中心に、家庭医の役割を果たしながら、整形外科診療を開始しました。

体の不自由な人々に 生きるよろこびを…

整形外科芦城病院開院の2年後、整形外科診療を通じ、脳卒中や外傷後など後遺症に悩む患者さんが少なくないことを実感し、全国で3番目となるリハビリテーション専門病院として、リハビリテーション加賀八幡温泉病院を開院しました。

当時はまだ理学療法士や作業療法士といったリハ専門職が殆どいない時代であり、温泉療法、マッサージ、レクリエーションなどを用いたリハビリテーションを行っていました。その活動が認められ、1980年8月に三笠宮崇仁親王殿下御夫妻が来院され、病院玄関に五葉松を記念植樹いただきました。

加賀八幡温泉病院は、当時一般的だった病院風のつくりから抜け出し、ロビーや病室は明るく、院内各所には手摺が設けられました。患者さんが杖や車椅子などで自由に動き回れるように設置した36mのスロープも当時としては画期的でした。また、温泉を利用した水浴治療室は水流付きの歩行訓練浴室として、この病院の一大特徴でした。

ウェルネスを提唱！ 個別処方健康増進

1961年にアメリカの医学者ハルバート・ダニーが「ウェルネス」という新しい健康観を提唱しました。その動きに共感し、実践・普及するべく設立されたのが、北陸体力科学研究所です。昭和57年、設立趣意書に記された内容は、わが国初のウェルネス宣言といえます。

全国にもフィットネス施設などが少ない中、スポーツコミュニティ ダイ



南加賀初の整形外科専門病院として開院



芦城病院開院の頃



光あふれる
ホスピタルコリドー



丸みを帯びた外観が特徴のやわたメディカルセンター



開設時の温泉病院



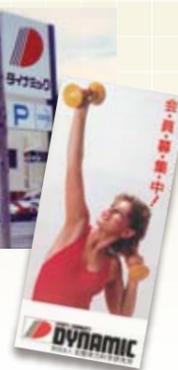
三笠宮殿下御夫妻御視察



延べ36メートルの訓練用スロープ



創業時のスポーツコミュニティ ダイナミック



芦城クリニック 地域に調和し、おもてなしの心を演出する外観



芦城クリニック 待合室

ナミックは、1984年5月にオープンしました。北陸で初となる体力・健康増進の拠点です。当初より、その人にとって、どのような運動をどのくらいの頻度で行えばよいか、個別・具体的な運動処方を提案し、それを行う「場」をつくり、集う人々の和と輪を結ぶ。アスリートの競技力向上を支援し、生活習慣病の予防や改善、健康維持と体力向上を楽しく継続・実践していただく。今も変わらない基本方針です。

このような運動療法実践の取り組みが評価され、1990年に厚生省から健康増進施設、全国で第1号となる指定運動療法施設の認定を受けました。

病気にならないための病院

平成13年10月、外来患者様の増加、施設の老朽化などもあり、21世紀型の医療に対応すべく、名称をリハビリテーション加賀八幡温泉病院から「やわたメディカルセンター」に変更し、新築リニューアルオープンしました。

病院建築のコンセプトは「病院らしくない病院」。癒しの空間の創造と21世紀型医療サービスの提供を目指し、「病気にならないための病院」をスタートさせました。従来の病院イメージの白くて四角い建物ではなく、やわらかな曲線や照明を随所に使い、シンボルカラーとして、あんず色を院内各所に用いました。

新病院の目指す医療は、「急性期から回復期、さらには維持期まで途切れることなく地元に着した医療を展開する。そのメインは回復期を中心にしたリハビリテーションの充実にある」「特色ある急性期医療の充実」「隣接するダイナミックと連携して予防医療や健康増進への取り組みをさらに拡充」することです。

芦城クリニック

JR小松駅前に新築移転！

2013年12月、「新・芦城クリニック」をJR小松駅前に新築移転オープンしました。

新クリニックは、地域に開かれた集える場所として、気軽に立ち寄り、相談もできるように、コミュニティギャラリーや寛いでいただけるウッドデッキを建物前面につくりました。「健康」をキーワードに人やもの、情報が行き交い、賑わい、そして繋がりが一層深まる。「まちなか」にお住いの皆さんがいつまでも幸せに暮らすことができるお手伝いをさせていただける。そんなクリニックを目指しています。

笑顔と安心の地域医療へ さらなる前進を！

平成28年11月27日の午後、こまつ芸術劇場うららに於いて、創立50周年記念式典を開催しました。協力企業の皆様、職員とご家族ら多数が参加し、50年を振り返り、グループの未来を展望しながら、笑顔と安心を支える地域医療を前進させる決意を新たにしました。

式典の後、市民の皆様にもご参加いただき、認知症予防体操や元気食の紹介、健康川柳コンテストなどで楽しく交流させていただきました。

また、記念コンサートは、津軽三味線明宏会の演奏で始まり、フリーアナウンサーの上坂典子さんが50年のあゆみを紹介、メインイベントは、童謡歌手の坂入姉妹が「時代をつなぐ心の歌」と題し、四季折々の情景やその背景をやさしく語りながら、多世代に歌い継がれる童謡を歌い、感動の輪を広げました。



医師の紹介

昨年10月以降に着任した医師を紹介します。どうぞよろしく願いいたします。

糖尿病・内分泌内科 科長

谷口 雅行 ●たにぐち まさゆき

日本糖尿病学会専門医
日本内科学会認定医・総合内科専門医

Message

活力にあふれた病院なので、これまでの経験を活かし、患者さんに寄り添う医療を頑張っ
て参ります。



整形外科 医長

石井 孝佳 ●いしい たかよし

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

Message

脊椎疾患で困ったことがあれば、まず、やわた
メディカルセンターに
思ってもらえる診療を
行います。



基本理念

あなたの健康が私たちの願いです。

～ Your Wellness is our dearest wish ～

世界中の人々が、お互い健康で、幸せをわかちあえるために私たちは日夜努力をつづけます。あなたの心と身体と環境を満足のゆく状態にするお手伝いをどうか私たちにさせてください。

※Wellness: ウェルネスとは身も心も、家庭や地域、環境もイキキ、はつらつとしていること。また、そうあるよう日々
こころがけ、行動すること。意気軒昂、前向きに、主体的に生きる、がキーワード。

基本姿勢

人を信じ、人を大切にします。

相手を信じ、自分を信じ、お互いに信頼しあう姿勢を基に、その個性や人格を大切に
して、自らの最大限の力量を持ってサービスに当たることが、私たちの基本姿勢です。
そのために、自らの健康・教養・品位・技術を高める努力を惜しみません。

